

# 2025 年度自己点検・自己評価

大阪国際外語学院

校長 奥村 登紀

5：達成している 4：ほぼ達成している 3：どちらともいえない 2：取り組みを検討中 1：改善が必要

## 1. 教育理念・目的等に関する評価

1-1 理念・目的・育成人材像は定められているか	5
1-2 学校の特色は何か	5
1-3 学校の将来構想を抱いているか	5
1-4 理念に基づく教育が行われているか	4

### \*実施策

認定校申請のため理念等再考する機会を得た。講師会はもとより、日々の授業実践においても理念の共有はできている。

## 2. 学校の運営に関する評価

2-1 運営方針は定められているか	5
2-2 事業計画は定められているか	5
2-3 運営組織や意思決定機能は確立され、効率的なものになっているか	5
2-4 人事や賃金での処遇・職場環境の改善に関する制度は整備されているか	5
2-5 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3
2-6 学校運営を客観的に評価し、維持向上させる機能が整備されているか	3
2-7 危機管理体制は整備されているか	3
2-8 施設・設備は教育上の必要性及び学生の安全確保に十分対応できるように整備されているか	4

### \*実施策

理事長・副理事長及び専任教職員が日常的に情報共有を行うことで、教学を含む業務体制の点検・改善に努めていく。

学生数増加のため、校外活動（進学説明会参加等）時の安全対策の徹底が急務。引率の方法も検討が必要。また、学内においても施設や設備において、学生数に適した対応が必要である。

在籍管理、学習管理に ICT を取り入れるための仕組みづくりを実施。学生数増加により学内の安全対策の強化が必要であり、年度末に学内 LAN 整備を行った。

## 3. 教職員に関する評価

3-1 教育理念・目的が教職員間で共有されているか	3
3-2 教育の質を向上させるための取り組みが確立されているか	4
3-3 教職員評価を行っているか	3

### \*実施策

学生数増加、クラス数増加により、教員一人当たりの授業時間数が増えており、教員の負担が増えている。理念や目的をもった授業実践は今後の課題である。

質向上のため年度末に研修会を行うことができた。

教職員評価として年度内に1回コンサルティングを行ったが、継続が必要である。

#### 4. 教育活動に関する評価

4-1	カリキュラムは体系的に編成されているか	5
4-2	授業評価の実施・評価体制はあるか	5
4-3	目標に向け授業を行うことができる要件・資質を備えた教員を確保しているか	3
4-4	成績評価は適切に行われているか	5
4-5	資格取得の指導体制はあるか	3

##### \*実施策

講師会においてカリキュラムや評価体制を共有した。教員の養成は課題である。

成績評価は専任講師の工夫により、適切に行われている。

登録日本語教員資格取得のための受験料の支援を実施。ほとんどの講師は登録日本語教員に合格。合格した専任講師による合格のための指導も検討しているが、学生数増の影響もあり、適切な指導体制が図れていない。

#### 5. 学校運営に関する評価

5-1	進学・就職指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか	5
5-2	学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか	5
5-3	学生の心身の健康管理・自己・怪我サポートを担う体制があり、有効に機能しているか	5
5-4	学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	5
5-5	保護者と適切に連携しているか	4
5-6	卒業生への支援体制はあるか	5
5-7	入国・在留関係の指導と支援が適切に行われているか	5
5-8	日本を理解するための支援が適切に行われているか	5

##### \*実施策

健康診断、定期的に生活状況の確認はできている。また、スタッフ・教員による出席状況確認も支障がない。その他、学習態度等に問題のある学生には面談を行い、改善を促すよう努めている。

なお、スタッフを2名入れたことで、母語での対応に幅が出た。学生の中にてんかんや精神疾患を持つ者がおり、現地の提携日本語センター経由で保護者へ連絡を行っている。

卒業生の在留資格更新、切り替えの支援を行っている。

#### 6. 在留管理と生活指導に関する評価

6-1	入国・在留関係の管理・指導と支援が適切に行われているか	5
6-2	日本社会を理解するための支援が適切に行われているか	5
6-3	我が国の法令を遵守させる指導を行っているか	5
6-4	常に最新の学生情報を把握しているか	5

##### \*実施策

留学生をめぐるトラブルに適切に対応し、またこれを未然に防ぐため、所轄警察署（大阪西淀川区）

及び大阪入国管理局と緊密な連絡を実施する。4月と10月に学内にて新入生対象に交通安全に関するオリエンテーションを実施している。入学時に生活および授業オリエンテーションを実施。日本のルールを知り、日本で生活する意識づけを行っている。

複数の入管業務申請取次者を配置。専任教員は毎年取次者講習に参加する。

## 7. 学生の募集と受け入れに関する評価

7-1 学生の受入方針は定められているか	5
7-2 学生募集活動は、適正に行われているか	5
7-3 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	5
7-4 入学選考は、適切かつ公平な基準に基づき行われているか	5
7-5 適正な定員設定及び在籍者数になっているか	5

### \*実施策

現地の日本語学校、送出国から紹介された学生については面接を行う。今年度は理事長、副理事長のほか、校長も同行し、面接試験を実施した。面接試験についても基礎学力を図るタイプの試験を実施している。また学生の紹介を受けた機関については、入学後の学生の素行等も踏まえて翌年度以降の提携を随時見直し、質の確保に努めていく。定員については、国籍ごとの入国状況を踏まえてほぼ毎年見直しを行い、変更時には遺漏なく関係諸機関に申請及び報告を行う。

## 8. 財務に関する評価

8-1 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	5
8-2 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	5
8-3 財務について会計監査が適正に行われているか	5
8-4 財務情報公開の体制整備はできているか	4

### \*実施策

学生数増員を行い、340人体制となった。

## 9. 法令等の遵守に関する評価

9-1 法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	5
9-2 個人情報に関し、その保護のための対策がとられている	5
9-3 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に務めているか	5
9-4 自己点検・自己評価結果を公開しているか	5
9-5 関係省庁への定期報告を遅延なく実施しているか	5

### \*実施策

第三者評価への移行に向けた取り組みを推進する。

ホームページにて公開する。

## 10. 社会貢献に関する評価

10-1 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	2
10-2 学生のボランティア活動を奨励・支援しているか	3

### \*実施策

西淀川区より「こども 110 番の家」指定依頼あり、検討している。

学生のボランティア活動は推進しているが、現状は、ボランティアよりはイベント参加が主体になっている。